

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

ホームページでもご覧いただけます

QR
コード

住みよい街 西柴団地

2019年9月に関東を襲った台風15号では、大規模な停電が起こり、復旧に2週間以上かかったところもありました。連日30℃を超える中、エアコン等を使えないため熱中症による死亡者も出ました。夏に起こる災害に備えておくべきことは何か、これまでの教訓をもとにポイントをまとめてみました。

暑さ対策

～大切なのは暑さ対策と衛生対策～



エアコンが使用できないときの熱中症にご注意ください！

故障時や停電時など、エアコンが使用できないとき、熱中症リスクが高くなるため、注意しましょう。

熱中症による健康被害は、高齢者において多発しております。



体を冷やしましょう

- 涼しい服装に着替え、風通しをよくしましょう。
- のどが乾いていなくても、こまめに水分補給をしましょう。
- 濡れたタオル等を肌当て、うちわであおぐと熱が放散されます。
- 水道が使えるようなら、水浴び等で体を冷やしましょう。



涼しいところに避難しましょう

- 車内は短時間で気温が上昇しやすいため、車内への避難は可能な限り避けて、冷房設備が稼働している場所へ移動することをおすすめします。
- やむを得ず車内で過ごす場合は、たとえ短時間でも 小さな子どものみを車内に残すことは大変危険であり、絶対にやめましょう。



普段から停電時などに備えましょう

停電時は断水が起こる可能性があります。

- 飲料や非常トイレ等を備蓄しましょう。
- 熱中症予防に利用できるように、浴槽やポリタンクに水を貯めておきましょう。
- 水をペットボトルに入れて凍らせておくと、もしものときに飲料にも冷却にも使えて便利です。



衛生対策

食中毒・感染予防対策として

備えておきたい衛生用品

◎消毒用アルコール

手指や調理器具の消毒に。



◎ウェットティッシュ

水が使えない場合の
汚れ落としに。



◎ラップ・アルミホイル

食器に敷いて使い、
洗い物を減らせる。



◎使い捨て手袋・ビニール袋

調理の際食品に
直接触らないように。



◎非常用トイレ

災害時、トイレが使え
なくなったときに。



◎カセットコンロ・ガスボンベ

食品の加熱ができ、
食中毒予防にもつながる。



災害時ゴミの管理・保管

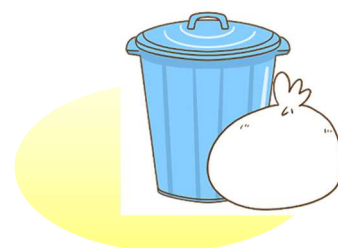
◎災害発生直後は、ゴミの収集が遅れることを

想定しておきましょう。

◎ゴミは臭いや虫が発生しないように、蓋つきの

ゴミ箱や袋に入れて密封しましょう。

◎ゴミ出しは、地域や避難所のルールに従いましょう。



災害時の飲料水

◎飲料水は最低 3 日分（1 人当たり 1 日最低 3 リットル）備蓄。

夏場は多めに備えましょう。

◎災害時は湧き水・井戸水・防火用水はそのまま飲まないようにしましょう。



非常用持ち出し袋も夏と冬で入れ替えましょう！

夏の非常用持ち出し袋にプラスしたいおすすめアイテム

□虫よけグッズ（虫よけスプレー・かゆみ止め）

□ドライシャンプー

□汗拭きシート

□日焼け止め

□瞬間冷却パック

□塩飴・塩分タブレット

□帽子

□扇子やうちわ

□夏物の衣類

